

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名： どもサポート教室「きらり」北長野校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	1	パーティションを動かして配置を工夫することで、活動しやすい空間を作るよう努めています。振り返りの場所や入れ替わりの時間に居ていただく場所がしっかりと確保できるよう、配置変更も含めて検討していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	1	法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。他の教室とも連携を取りながら、職員が少しでも余裕を持って動けるよう配慮していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	1	トイレや教室入口のバリアフリーについては充分とはいえません。車椅子の方のご利用が見込まれる場合には、対応を検討します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	0	日ごと、週ごとに、全員参加の打ち合わせ会を行い、振り返りをしていますが、時間が充分にとれないこともあります。効率的な運用を目指し、業務改善を行っていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0	多くの方から貴重なご意見をいただきました。職員全員で結果を検討し、今後改善すべき点を明確にしたうえで、迅速に対応策を実施していくようにします。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	昨年度に続き、今年度も、北長野校のHP上で結果と考察を公開することになっています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	0	2019年2月末に外部監査がなされ、教室の業務運営全般につき、状況の確認と改善点の指導を受けました。改善点については対応済みです。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	社内での研修に加え、外部で行われる研修についても、できる限り参加するよう心掛けています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	お子さんの困り感や保護者の方のニーズにつき、支援中の様子や保護者の方への聞き取りをもとに職員全員で検討を行い、支援計画に生かしています。いつでも変更のご要望を受け付ける心づもりで今後も対応していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	3	1	統一したアセスメントツールがありますが、他のアセスメントシートも含め、客観性があり、より利用しやすいものがないか、検討中です。決まり次第、使用を開始したいと考えています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	職員全員で確認した個別支援計画書に基づき、前回までの様子についての情報交換を行いながら支援内容を決めだしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	それぞれのお子さんの気持ちや興味関心、ねらいなどに合わせて、いろいろな活動を取り入れるよう心がけています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	0	その日のお子さんの様子や保護者の方のご要望により、その日の課題を柔軟に設定するよう心掛けています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	基本的には個別支援を中心に行っておりますが、個別に加えて、数名の小集団での活動も併せて行うことで力が伸びそうだと考えられるお子さんもいます。その場合には、集団活動に関連した目標も取り入れていきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	朝礼に加えて、適宜打ち合わせを行うことで、支援内容や役割分担の確認をしています。今後も連絡と相談を密に行っていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	0	支援の振り返りをその日に行うことができないことも多いので、朝礼や隙間時間を使いながら情報共有を行っています。今後も振り返りと共有の時間を大切にしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	毎日の支援内容や引継ぎ事項などを文書で残し、引継ぎにも使っています。指導員同士で内容を確認することで、次回の方向性を導き出しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	個別支援計画の見直しの時期だけでなく、支援後の保護者の方との話し合いの内容も参考にしながら、計画の見直しの必要性や内容を追加すべきかどうかの判断をしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1	0	お子さんの様子や保護者の方からのご意見、来校時の様子などをもとにしながら、基本活動に優先順位をつけて毎回の支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	0	会議が支援時間と重なることも多いため、その子の状況から考えて最もふさわしい者が参加できないこともあります。その場合も、職員間で連絡を取り合い、情報を伝えることができるよう努めています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	0	左記のような内容についての情報共有は、保護者の方を通して行っています。また、支援会議に参加して、お子さんの状況についての情報共有も行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	2020年1月15日現在、医療的ケアが必要なお子さんのご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	とりわけお子さんが年長や小学校1年の場合には、園や相談機関、他事業所などと頻りに連絡を取り、保護者の方の意向も踏まえて対応するよう心掛けています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	2020年1月現在、このようなお子さんはいません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	外部の専門機関での研修を受けたり助言を受けたりする機会があるときは、積極的に参加するよう心掛けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	3	児童クラブの職員と本教室の職員との交流はあっても、お子さん同士の交流はありません。このような機会を作ることが必要かどうか含め、今後の検討課題とします。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	2	今年度も参加していますが、開催された回数は多くありませんし、参加できた職員も限られています。参加できる場合には積極的に参加したいと考えています。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	フィードバックの時間に様子を丁寧にお伝えし、共通理解を図るよう心掛けています。支援時間中に支援担当でない職員による相談時間を設けるなど、ご希望に応じて共通理解の時間を確保するよう心掛けていきます。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	保護者の方を支援するための助言を、私たちのできる範囲で行っています。体系的な支援プログラムを組んでいるわけではありません。今後の検討課題です。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時に内容を丁寧にお伝えするよう心掛けるとともに、事業所内にも掲示しています。内容についてご質問やご指摘を受けた場合は、丁寧に対応するよう心掛けます。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	支援後のフィードバック時に相談に応じたり、支援中に支援のない職員がお声がけしたりして、話しやすい雰囲気になるよう努めています。教室内に書籍を置き、時間のある時にご覧いただくことで、さまざまな悩みに対する対応策を考える一助となるようにしています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	0	保護者会をこれまで 2 回実施しました。保護者の方の良い交流の場になったと思います。次回は参加したい、という声をいただいているので、回数を増やす方向で検討していきます。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	苦情受付体制について契約時にお伝えするとともに、お伝えいただいた苦情の内容については問題点を全員で共有し、解決策を検討してきました。不十分な対応が原因でお子さんや保護者の方が不快な思いをされることのないよう、迅速で適切な対応をするよう心掛けていきます。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	0	定期的にブログを更新して教室の予定や様子をお伝えするとともに、行事予定は印刷物でもお渡ししています。今後も定期的にブログを更新していきます。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	個人情報の扱いについて、契約時に丁寧にお伝えするよう心掛けています。個人情報ファイルは鍵付きキャビネットに保管する、PC のパスワードを設定するなど、取り扱いには留意しております。ただ、情報の安全な管理は、これで充分ということはないため、今後も細心の注意を払い、紛失、破壊、改ざん、漏洩等がないようにしていきます。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	お子さんの状況に応じて、情報機器を活用したり、視覚支援などを行ったりしています。どのような意思疎通方法や伝え方がよいか、お子さんの様子や保護者の方のご意見も参考にしながら、今後も改善を図っていきます。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	イベントにはどなたでも参加することが可能で、これまで何人かご参加いただいています。また、学校の先生方が来校されたことが何回かありますし、地域の方が教室の玄関に顔を出してくださることもあります。しかし、地域住民の方を教室にご招待することまではしていません。地域の皆様とのつながりができそうな機会があれば積極的に参加するなど、つながりを大切にしていきたいと思っています。
非常時等の	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	マニュアルを作成し、緊急時を想定した訓練を職員で行っています。昨年秋に長野市で水害があったこともあり、保護者の方の緊急時の対応についての関心が高まっています。マニュアルが適切か、これからも見直していきます。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	消火器や火災報知器の利用法、避難経路の状況確認なども含め、月 1 回実施している避難訓練の中で確認し

対 応					ています。非常持ち出し物や避難場所・経路の状況確認など、これからも継続して行っています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	マニュアルを作成しています。また、全職員が研修に参加するようにしています。虐待防止の意識を高めるためには、定期的な研修受講が必要で、これで充分だということはありません。常に研鑽を積んでいかなければならないと考えています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	0	マニュアルを作成するとともに、契約時に虐待防止についての説明をしています。身体拘束については、行わないことを原則と考えています。保護者の方に対する説明が充分になされているかについては、改善の余地があります。もっと詳しくお伝えすべきではなかったかと反省しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	-	-	-	飲食物の提供はしていません。留意事項のあるお子さんについては、全職員が情報を共有しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	マニュアルと事例ファイルを作成するとともに、これまで発生した事例についての情報を共有して再発防止に努めています。ヒヤリハットの発生時には、全員で状況確認と対応策の検討を行い、同様の事例が二度と起こらないよう、注意しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北長野校

保護者等数（児童数）：37 回収数：26 割合：70%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5	2	パーティションやホワイトボードの配置を工夫することで、活動しやすくなるよう努めています。大きな音が苦手なお子さんもあり、支援時の周囲の音が気になることがあるのご意見をいただきました。声の大きさを調節するのも大切な学習です。職員の声の大きさも含め、見直していくようにします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	4	0	いろいろな個性を持つ人と気持ちのつながりを持つことが大切との考えから、指導員は原則、固定制にしておりません。支援に当たる指導員は継続的に研修を受けておりますが、これで充分ということはなく、絶えず力量を向上させていく必要があります。すべての職員の力量を更に向上させ、すべてのお子さんや保護者の方に満足していただけるような支援ができるよう、今後も研鑽を積んでいきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	10	0	お子さんにとってもっと良い環境にならないか、構造化が充分になされているかなど、今後も検討していきます。トイレや入口のバリアフリー化についての不十分な面については、今後解決しなければならない課題です。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	23	1	1	計画を立てる前や支援後にいただく保護者の方のご意見を受けて、職員全員で内容を検討し、計画を立てています。果たしてお子さんの困り感や保護者の方のニーズに合った計画になっているか、絶えず見直していきます。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	3	0	お子さんの様子を思い浮かべながら教材を準備しておりますが、その日のお子さんの気持ちに合わないこともあります。柔軟に対応できるよう努めています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	10	13	今のところ、特別な交流の機会は設けておりません。このような機会を作ることが可能かどうかも含め、今後の検討課題とします。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	2	0	契約時やフィードバックの時間に、丁寧に説明するよう心掛けておりますが、耳慣れない言葉が多く出てきており、説明のわかりにくいところもあろうかと思えます。よりわかりやすい説明ができるよう、改善に努めています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	1	0	はたして共通理解ができているか、私たちの伝え方射たものだったのか気がかかっています。ただ、共通理解しようという気持ちは持っていますし、これからも持ち続けていくつもりです。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	5	0	フィードバックの時だけでなく、支援中も支援のない職員が対応するよう心がけています。声をかけやすい雰囲気作りにも留意します。ご遠慮なくお声がけ下さい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	9	4	これまで保護者会を2回しか行っておらず、冬以降に利用を開始した方にとっては参加の機会がありませんでした。ある児発の保護者の方からは、園では他の方と話す機会がないというお悩みも伺っています。より多くの機会を設けることで、保護者の方同士の交流が深まるよう努めます。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	5	0	対応が遅れたために適切な行動をとることができず、保護者の方にご迷惑をおかけしてしまったことがあり、深く反省しております。今後の糧としていきます。お子さんや保護者の方からお話を伺う機会を多く持ったり、こまめに連絡を取ったりすることで、迅速で適切な対応ができるよう心がけていきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2	0	保護者の方との意志疎通がはかれているか、そのための十分な機会と時間が確保できているか、配慮が行き渡っているか、今後も自分たちの姿勢を振り返って考えていきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	7	1	ブログを定期的に更新したり、教室内の掲示物を適宜新しく届いたものに張り替えたりしています。今後は、ブログを更新したことを教室でもお知らせしたり、掲示内容に関心をお持ちの保護者の方に個別に紹介したりなど、もっと多くの方に見ていただけるよう、呼びかけや配慮を行っていくよう努めていきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	23	3	0	個人情報の取扱いについては、留意しておりますが、これで充分ということではなく、常に見直しをしていく必要があります。外部から意見をいただくことも必要です。日々の確認を怠ることのないよう、気をつけていきます。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	4	0	各種マニュアルの準備はしてあります。しかし、避難経路以外についてお知らせする活動が不十分でした。教室の見える場所に掲示するなど、対策を検討していきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	10	1	職員は、様々な状況を想定した避難訓練を毎月行っています。ただ、お子さんを交えての訓練については、交通安全を小集団イベントで扱ったことはあるものの、非常災害についての訓練は行ってきていません。必要性も含め、今後の検討課題とします。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	1	0	楽しみにしてもらっているかどうかに加え、きりが安心して過ごせる場になっているか、お子さんにとって安心して気持ちを伝えられる職員であるか、といった視点も大切だと考えています。きりが安心して心を開くことのできる場であったり、困ったことがあったときにはきりの職員が頼れる大人の一人になったりすることができるよう、今後も務めていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	25	1	0	これからもご満足いただける支援を続けていかれるよう努めてまいります。忌憚のないご意見をお寄せいただけますようお願い致します。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。